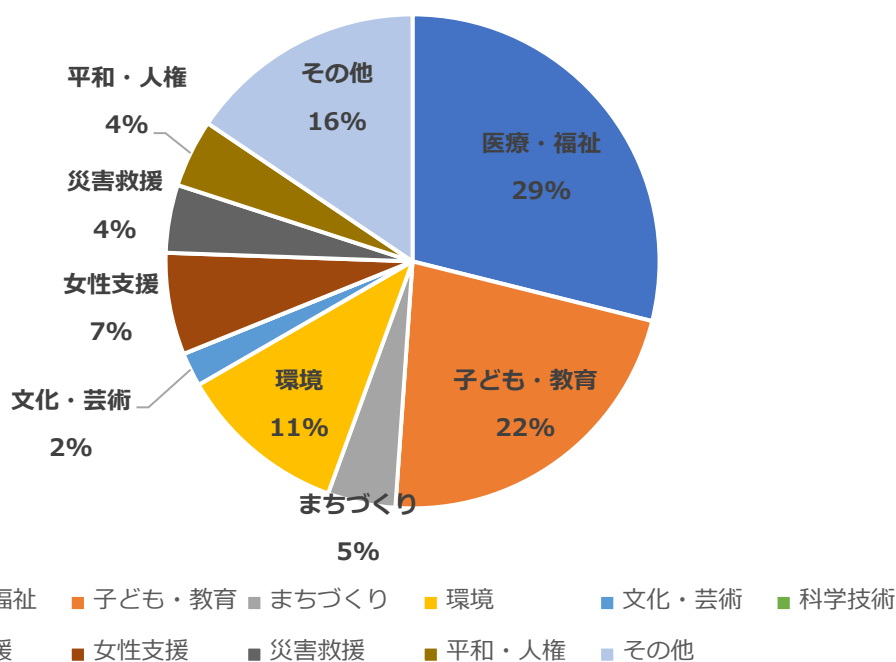


# 遺贈を含む寄付等に関するアンケート

アンケート実施期間：2020年3月19日～4月5日

回答：サービスグラント過去支援先45団体（メール送信先：280団体） 回答率：16%

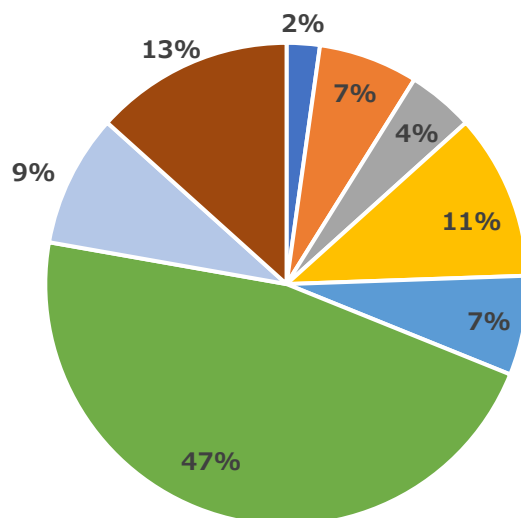
1. 貴団体の活動分野として最も近いものをお選びください。



## その他

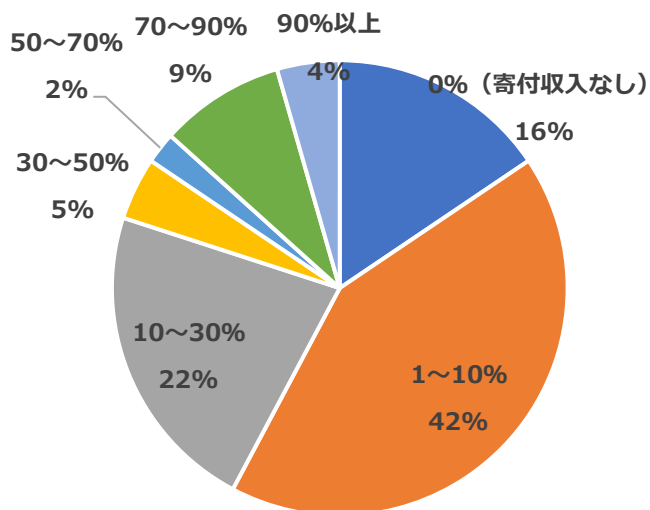
- ・ 高齢者福祉
- ・ 酒害者支援
- ・ 国際協力活動
- ・ 国際交流
- ・ 中間支援団体
- ・ 犯罪被害者支援

2. 貴団体の直前期の年間総収入について、概ねの金額を下記よりお選びください。



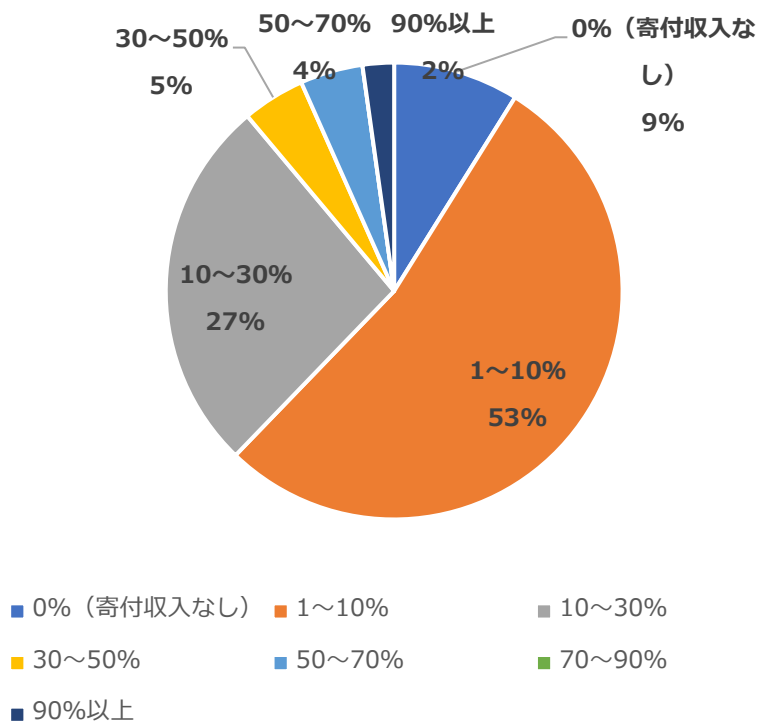
- 0円 (収入なし)
- 0～100万円以下
- 100万円超～300万円以下
- 300万円超～500万円以下
- 500万円超～1000万円以下
- 1000万円超～5000万円以下
- 5000万円超～1億円以下
- 1億円以上

3. 貴団体の収入のうち、賛助会員費やマンスリーサポーターなど、継続的な寄付の占める割合はどれくらいですか？

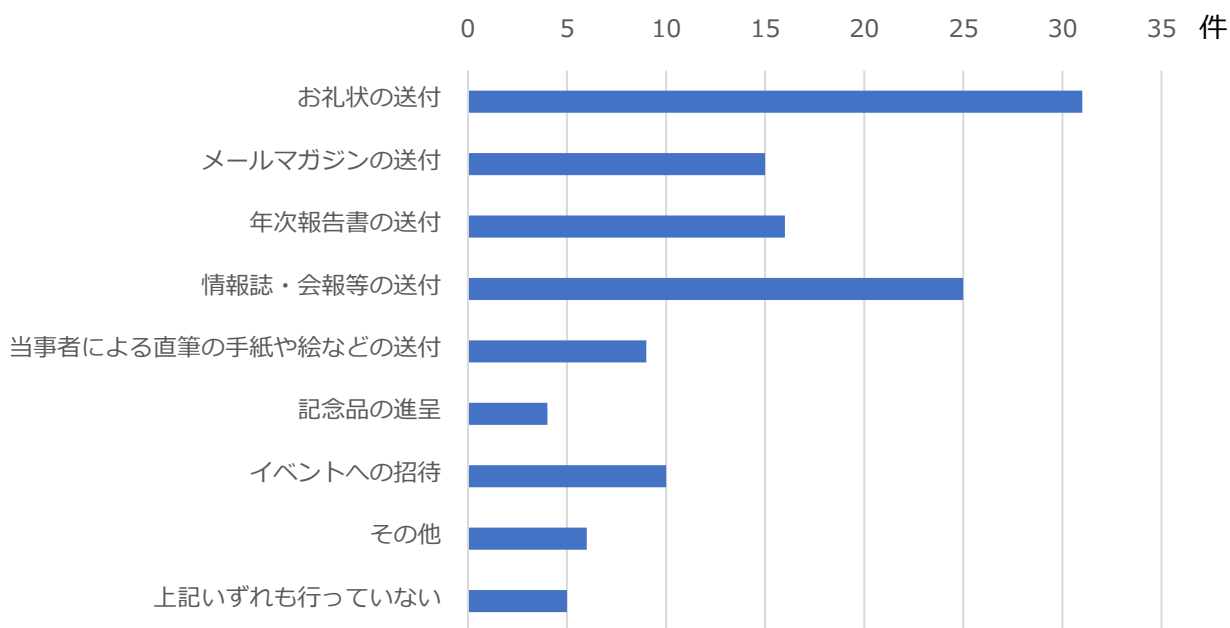


- 0% (寄付収入なし)
- 1～10%
- 10～30%
- 30～50%
- 50～70%
- 70～90%
- 90%以上

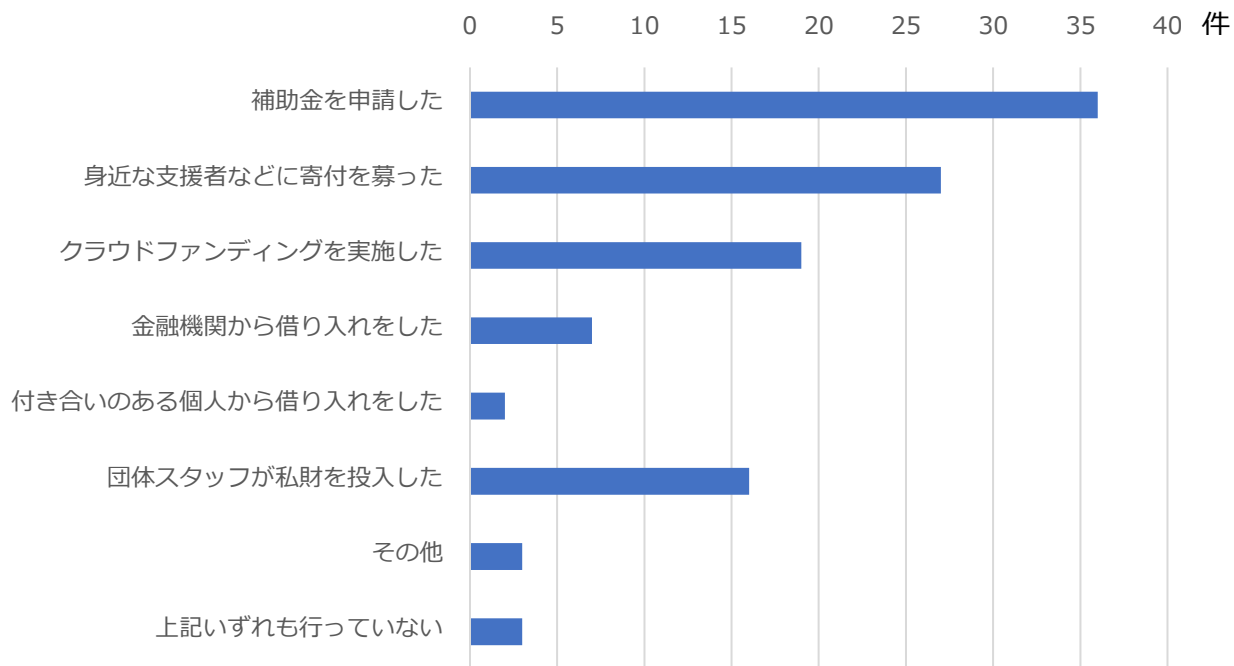
4. 貴団体の収入のうち、上記以外の単発での寄付の占める割合はどれくらいですか？



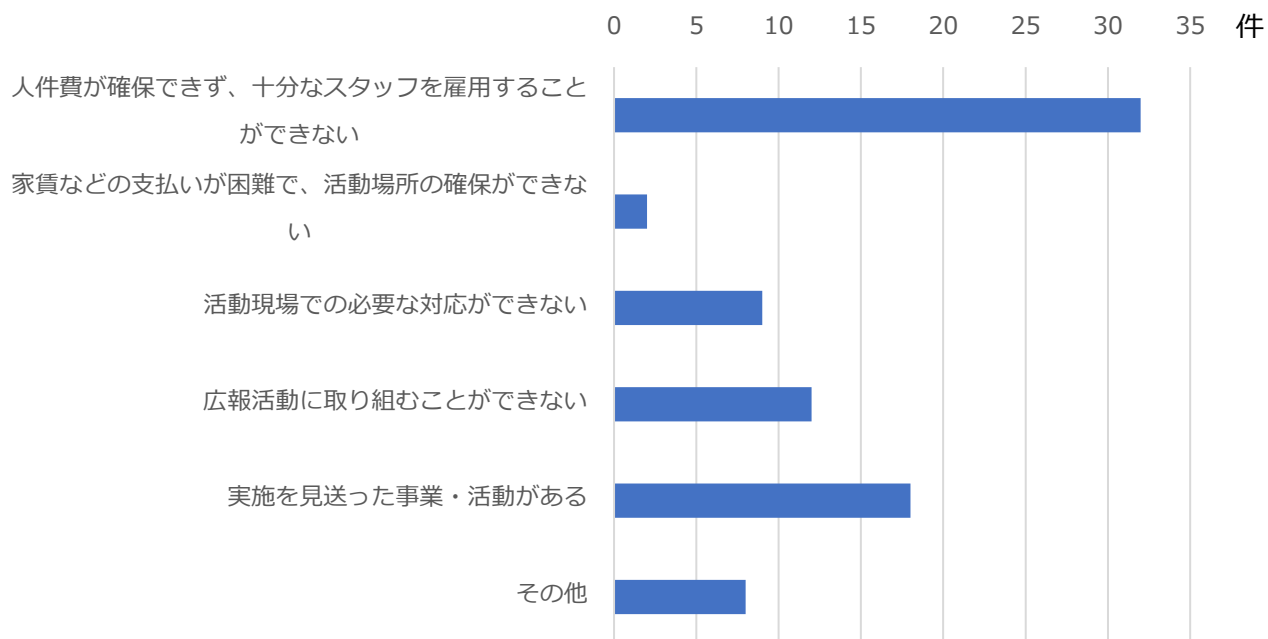
5. 種別や受領額にかかわらず、寄付収入のある団体にお聞きします。次に挙げるような、寄付者本人及びその家族へのお礼や感謝を示す取り組みを行っていますか？  
あてはまるものをすべてお選びください。



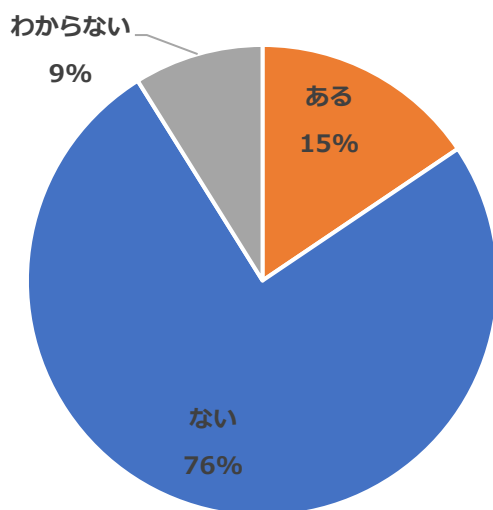
6. 団体の活動運営費の不足を補うために、今までに下記のような対応をしたことがありますか？  
あてはまるものをすべてお選びください。



7. 団体の活動運営費の不足によって、今までに大きな影響が出たことは何ですか？  
あてはまるものをすべてお選びください。



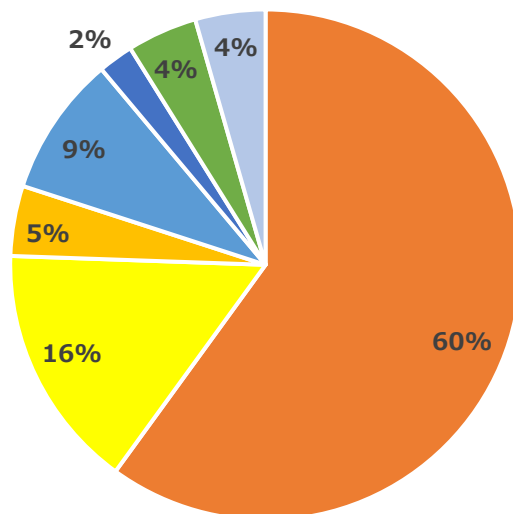
8. 今までに、団体の活動終了を想定し、残余財産の帰属や対応について検討したことがありますか？



9. Q8で「ある」と回答された方は、具体的な検討内容を差し支えない範囲でお聞かせください。

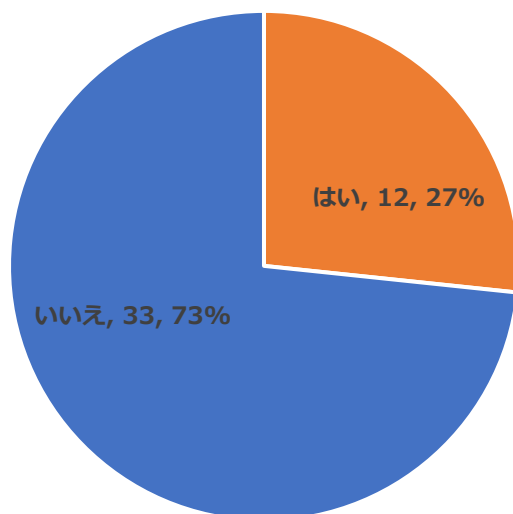
- ・ 支援先の団体職員の退職金に充てるなどの検討を行ったことがある
- ・ 理事および正会員で分配すること、および他団体に事業ごと引き継ぐこと
- ・ 今後5年間の資金がある間に、最低限存続し続けられる経営状況に引き上げられるかどうか？で再度存続の可否を検討することとなった
- ・ 類似活動を行っている別の法人への贈与
- ・ すべての家具や備品の処分について、いったん貸倉庫で保管しておくことを考えた

10. 「遺贈」についての関心度をお聞かせください。

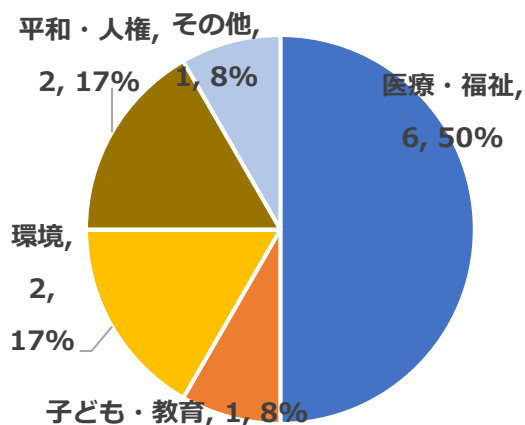


- 強く関心があり、寄付者からの遺贈を積極的に受けたいと思っている
- 関心があり、寄付者から申し出があれば受領を検討したいと思っている
- 関心があり、仕組みや手続きなどについて今までに調べたことがある
- 関心はあるが調べたことはなく、機会があれば詳しく知りたいと思っている
- あまり関心はない
- わからない
- その他

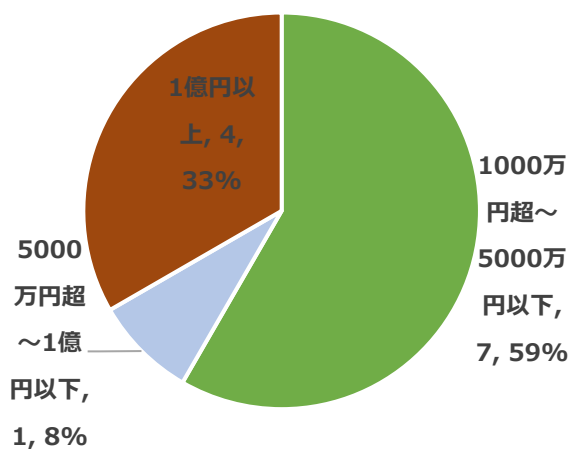
11. 貴団体で、これまでに遺贈の申し出を受け、実際に受領したことがありますか？



「はい」と答えた団体の活動分野 (Q1)



「はい」と答えた団体の年間総収入 (Q2)

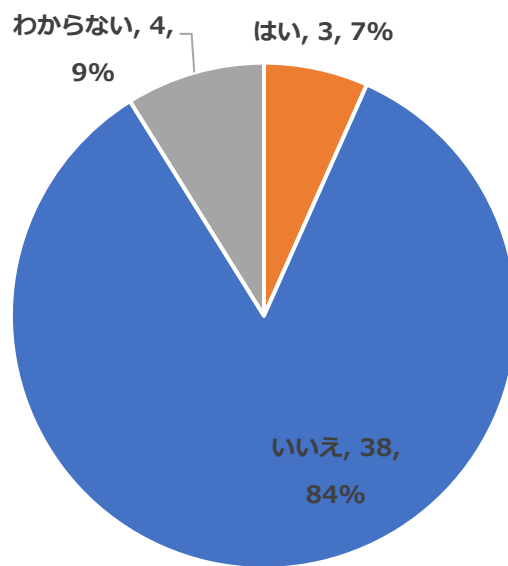


12. 上記で「はい」と回答された方は、差支えない範囲で、その金額（不動産の場合はその種類）や寄付者の属性などをご記入ください。

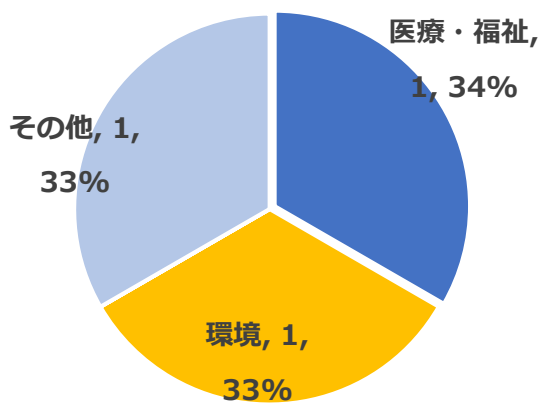
- ・ 代表者の講演を聞いて感銘を受けた方から
- ・ 元代表理事から書籍の著作権などを譲り受けている
- ・ 遺産寄付であれば数万円～数百万円、遺贈寄付であれば100万円～数億円など。但し生前贈与は含まない
- ・ 数年前に寄付先のご相談のお電話を何度かいただいた高齢の単身女性から、数年後に

- ・ 創設メンバーから
- ・ 単身女性で、研修等の講師としてご協力いただいていた方から
- ・ 長く会員だった方から
- ・ 理事から紹介を受け、100万円の遺贈を受けた
- ・ 単身男性から100万円程度の遺贈

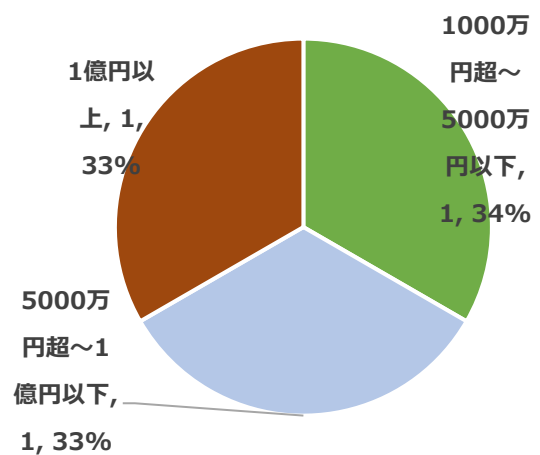
13. 貴団体で、結果的には受領しなかったが、遺贈の申し出を受けたことがありますか？



「はい」と答えた団体の活動分野 (Q1)



「はい」と答えた団体の年間総収入 (Q2)

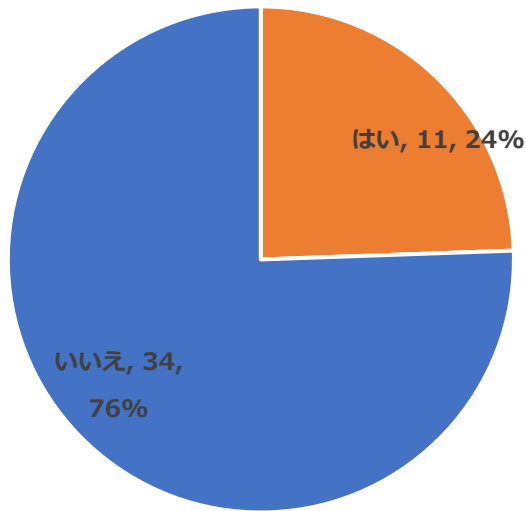




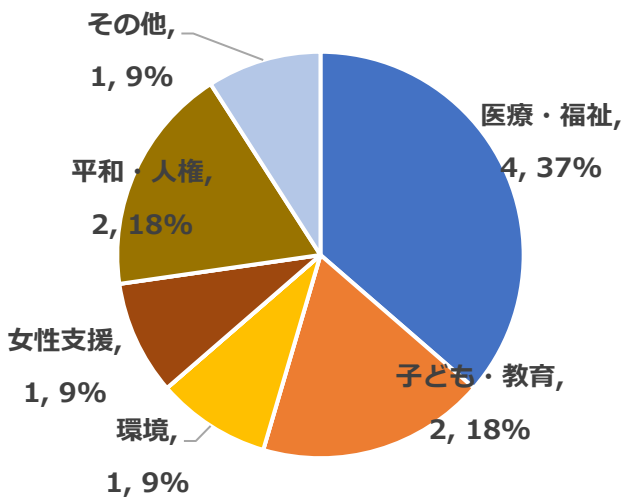
14. 上記で「はい」と回答された方は、差支えのない範囲で、受領に至らなかった（できなかった）理由をご記入ください。

- ・ 遺贈希望者が存命で、生命保険の受取人に指定している親族がすべて亡くなっている場合にのみ、遺贈されるという希望のため
- ・ 不動産の現物遺贈は全てお断り、執行者による換価処理ができる場合のみ受け取る

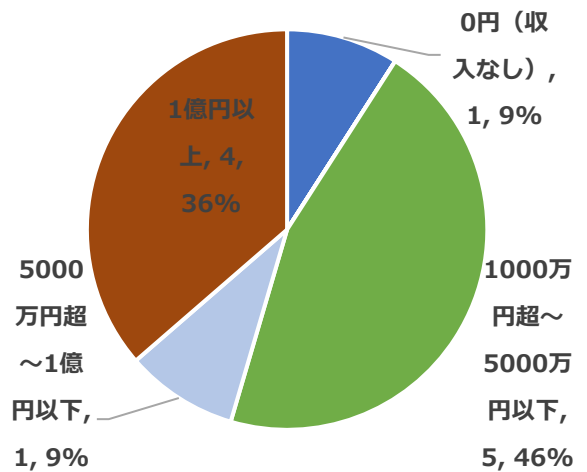
15. 貴団体で、遺贈したいという人からの問合せを受けたことがありますか？



「はい」と答えた団体の活動分野 (Q1)



「はい」と答えた団体の年間総収入 (Q2)



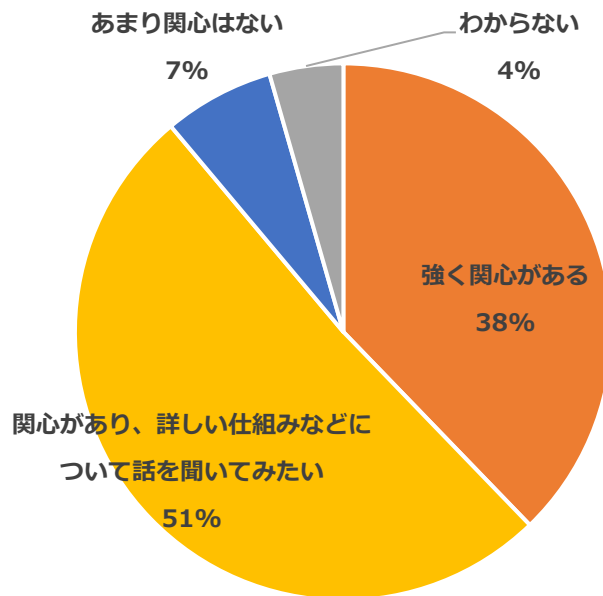
**16. 上記で「はい」と回答された方は、差し支えない範囲で、どのような問合せ内容だったか、お聞かせください。**

- ・ 直接子どものために使ってほしい方がおられるとのことで、団体の活動について銀行からの問い合わせがあった
- ・ 自分の亡きあとには遺贈したいとお話はいただいています
- ・ 資料請求のみに留まっている場合も含めて、ここ数年、年間の問い合わせ数が 50 前後→90 前後→200 前後と増えています
- ・ 今後、検討する可能性がある方がいらっしゃった場合に、紹介して良いか？との質問をいただいたので、Yes と答え資料をお送りした
- ・ 匿名の電話で、寄贈（寄付）を受けつけているかどうかのみを尋ねられた

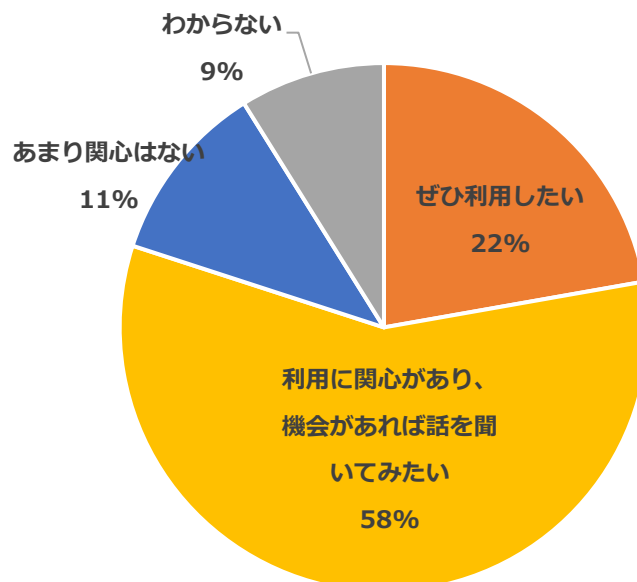
**17. 遺贈を受領するしないにかかわらず、何かトラブルや受領するプロセスで障壁となったことがあれば、差し支えない範囲でお聞かせください。**

- ・ 税制優遇処置
- ・ 遺族トラブルは数件あり、相続発生から数年越しで未だに入金されていないものもあります。遺言作成の意思を示されても、実際に作成までいかない場合も多いように見受けられます
- ・ 団体として遺贈を受ける体制やアドバイザーなどが整っていないため、適切な対応が出来なかった
- ・ 不動産を寄付したいという申し出に対して、専門知識がなさすぎて対応に苦慮する
- ・ 遺贈を積極的に受けようと考えたが、土地や建物を受け取ることはできないし、遺族とのトラブルの可能性など、受け入れのための仕組み作りが非常に重要かつ困難と知り、足踏みしている。亡くなった方からのご意思でご寄付をいただいたが、それは遺族からの一般寄付として処理している
- ・ 事務手続きが煩雑だと聴いているので、十分な事務スタッフを現状は、確保できない
- ・ トラブルに至ったことはないが、ご本人やご家族が心を決めることができず、長期間お付き合いをする必要がある

18. 信託銀行では、顧客向けに遺言信託（執行付きの公正証書遺言）のサービスを提供しています。そうしたサービスを利用する方から遺贈を受けることについての関心度をお聞かせください。



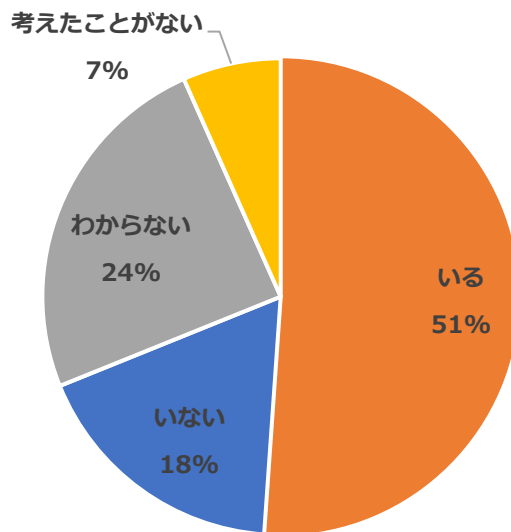
19. 遺贈受領に係る事務手続きを、金融機関等に外部委託できるサービスがあれば利用したいと思いますか？



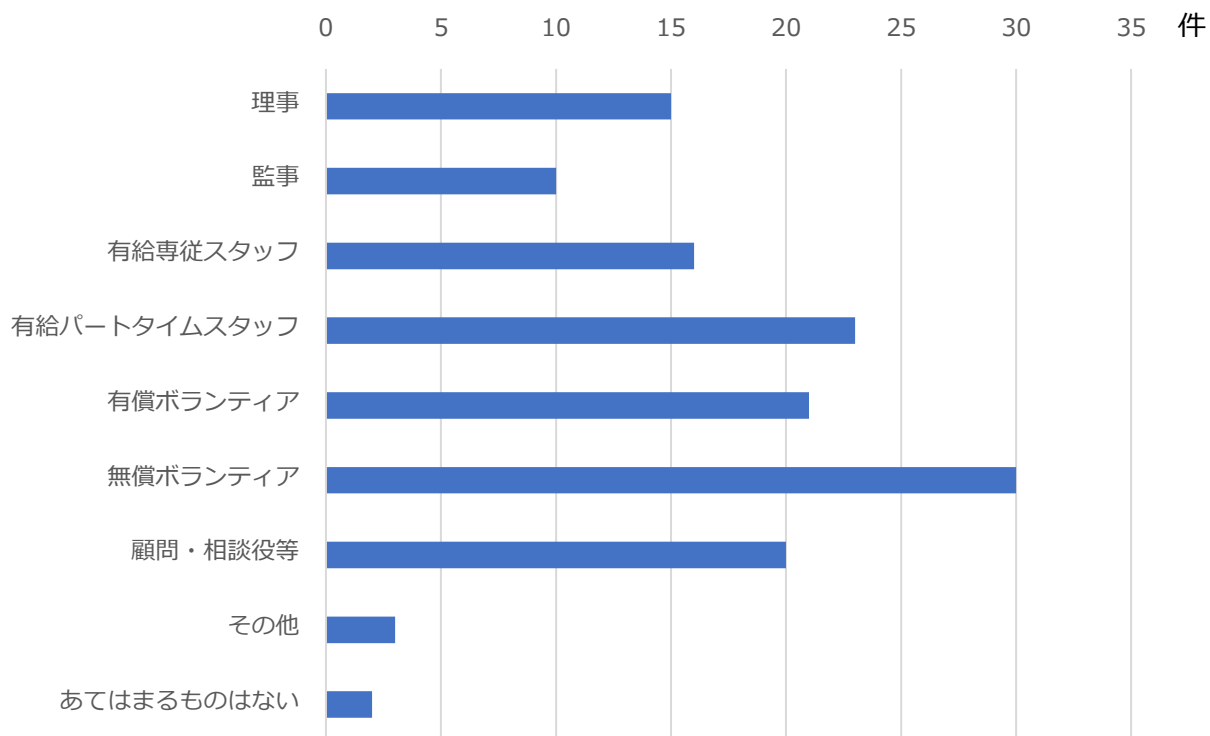
## 20. 「遺贈」について知りたいと思うこと、疑問点などありましたら自由にご記入ください。

- ・ 遺贈したいと思ってくださっている方はいますが、実際にどのような準備や手続きをしておいてもらうことが必要なのか知りたいです
- ・ どのようにしたら遺贈についての情報が得られるかが知りたいです
- ・ 処分しにくい不動産などの資産を遺贈されたときの対処法を知りたい
- ・ 事務手続きが委託出来るのはありがたいが、その委託費用も気にかかる。遺贈費用で賄えれば良いが、よく助成金である後払い、立替が必要だと、受けようにも受けられないと懸念はある
- ・ 相続人が複数いる場合には、ご家族の了承はどのように？など疑問が多く、安易に遺贈寄付を広報できないなと感じた
- ・ 認定団体ではないので、遺贈をされた方が税控除のメリットがないのでは？と思っています
- ・ 個々のNPO法人が受け入れの仕組みを作るのは困難。中間支援団体があると非常に助かる
- ・ 活動資金に還元するために現預金以外のお申し出を受け付けていない。しかし、もう少しご遺志に沿う活用方法はないかと悩む

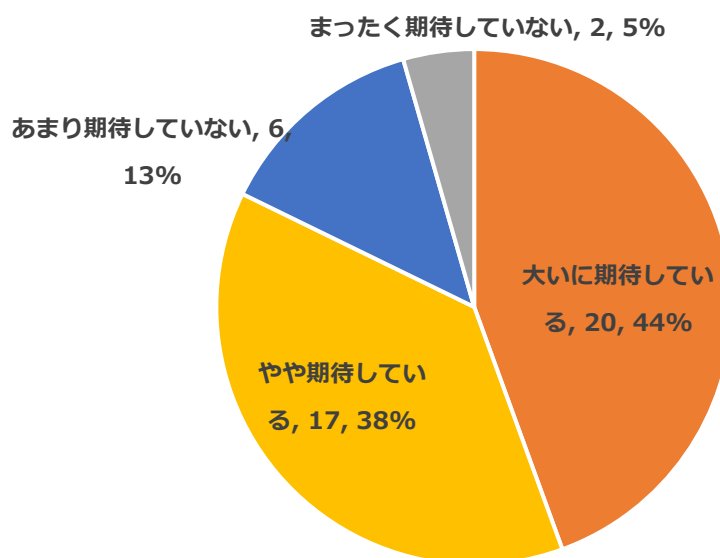
## 21. 現在の団体代表者から活動を引き継ぐ、後継者候補となる方はいますか？



22. 今後、団体として、既存の参加者・メンバーでなく、ひろく一般・外部から募集したい役職・スタッフはありますか？ あてはまるものをすべてお選びください。



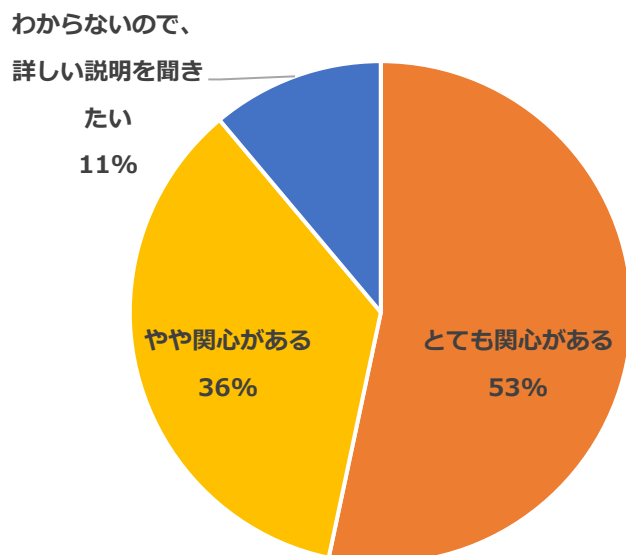
23. 「人生 100 年時代」と言われる中、中高年の社会参加に対する関心が高まっています。中高年の人材の活躍について、貴団体ではどの程度期待していますか？



**24. 中高年の人材の活躍に関して、貴団体として期待することがありましたら、ご自由にご記入ください。**

- ・ 経験に基づいた傾聴など
- ・ IT 技術、会計の知識、組織改革の手法など、企業等での経験を生かせる方
- ・ 企業で仕事をされていた方のスキルを活かして、広報やファンドレイジングについて手伝っていたら有難いです
- ・ 子どもの見守りスタッフや、家庭訪問型の子育て支援事業などにかかわってほしいと期待
- ・ 上から目線でなく、ともに成長できる方
- ・ 経営の経験がある方で、メンター的な立ち位置で事務局長のポテンシャルを引き出してくれるような関わり方ができる方がいたら嬉しいです
- ・ 経験値は教育に余裕がないNPO にとっては心強い存在だと期待している。また長く勤めてくれることにも期待している
- ・ 中高年の方と出会うチャンスがなかなかないのでそうした情報を得られる方法があれば知りたい

**25. サービスグラントでは、オンライン上で支援者の募集ができるマッチングプラットフォーム「GRANT」を立ち上げました。「GRANT」の活用にご関心がありますか？**



**26. 非営利活動団体として、金融機関に期待すること・要望などがあればご記入ください。**

- ・ (当団体の活動対象は) 高齢の方も多く、金融機関としてつながりも深い年齢層だと思います。その方々のニーズを吸い上げて、当団体の活動にも反映できるのではないかと思います。双方にとって、相乗効果が期待できる関係づくりとなることに期待しています
- ・ 多様な形を考えていただき、少額からでもご支援いただければありがたいです
- ・ 経験のある経理スタッフを給与が営利企業よりも出せない NPO にとって、金融機関の OB が関わってくれる事は期待する
- ・ 社会的貢献を積極的に進めてほしい。特に NPO 法人への支援は銀行の信頼性をより高めると考える
- ・ 事業のマッチングや団体の新事業の発掘などを行ってほしい
- ・ 全国ネットワークのファンドレイジング協力、不動産換価など、現状各 NGO が個別対応しているが物凄く大変で諦めているケースも多いことに関し、大きな枠組みを作ってもらえるととても助かる
- ・ 遺贈寄付に関する社会的認知度を高めること。また、具体的に個別の紹介等
- ・ 今回のような遺贈や寄付などの情報が得られる窓口となっただけのことを期待したいです
- ・ 審査時に、沢山の書類を要求されたり、事務手続きが煩雑だと恒常的に人手不足な NPO 団体は金融機関に足が向かなくなる

**27. 当アンケートに関して具体的なヒアリング（追加質問）の実施を検討しております。今後、そうしたサービスグラントからのヒアリングにご協力いただける場合は、下記にチェックを入れてください。**

